



「平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業」
(平成 20 年度外務省委託事業)
広島平和構築人材育成センター

日本人研修員募集要項

本事業は、文民の平和構築の担い手を養成することを目的として、外務省が立ち上げた人材育成事業です。外務省の委託を受けた国立大学法人広島大学の平和科学研究センター内に設置された事業事務局が中心となった「広島平和構築人材育成センター(Hiroshima Peacebuilders Center : HPC)」が事業運営を行います。この事業は、世界最高水準の講師陣による 6 週間の国内研修、平和構築の現場で活動する海外の国際機関や NGO における最大 5 ～6 ヶ月間の海外実務研修に大別され、更に就職支援も行います。本センターは平和構築支援関係者の我が国及びアジアにおけるネットワーク作りを推進していきます。

この研修事業に参加する日本人とアジア人（共に 15 名程度）のうち、日本人研修員を次の要領で募集します。

1. 研修期間

<国内研修>：平成 20 年 8 月 25 日～9 月下旬（6 週間）

<海外実務研修>：平成 20 年 10 月上旬～平成 21 年 2 月中旬から 3 月末（最大 5～6 ヶ月）

2. 研修内容（別紙 1 参照）

<国内研修>：日本国内及び海外の講師・ファシリテーターによる平和構築の講義及び問題解決型ワークショップ（英語で実施）

<海外実務研修>：平和構築分野で活躍する国際機関・NGO 等の現地事務所等における実務

3. 研修場所

<国内研修>：東京、広島市内、広島県東広島市

<海外実務研修>：書類選考通過後の面談及びその後の本人・関係機関等との協議を通じて調整し、選定します。

4. 研修参加費

112,500 円（国内研修期間中の宿泊費・研修中の国内移動費込み）

*海外実務研修にかかる渡航費・着後手当・保険料・現地生活費（住居費含む）等は HPC 負担

5. 応募資格

(1) 最低でも以下のいずれかの要件を満たす者

① 平和構築に関連する諸分野（保健・医療、法律、財務、行政、教育、メディ

ア等を含む広範な分野)で、2年以上の実務経験を有し、今後平和構築支援のために活躍する強い意思を有する者

② 平和構築に関連する諸分野(平和学、紛争解決学、政治学、法学、経済学、開発学等を含む広範な分野)での修士課程修了以上の研究経験を有し、今後平和構築支援のために活躍する強い意思を有する者

- (2) 日本国籍を有する者
- (3) 英語での研修の参加に支障のない英語力を有する者
- (4) 原則として国内研修・海外実務研修に全て参加することができる者
- (5) 研修への参加に支障がないことが想定できる者

6. 応募書類

- (1) 所定の申込書(ウェブサイトダウンロード可) (別紙2参照)
- (2) 平和構築支援に向けた申請者自身の研修直後から数年後(1年、3年、5年後などの段階に分けた記載等)にかけてのキャリアプラン(本研修の位置付けを含む)の具体的実現方法に関するエッセイ(英文1000単語以内・様式任意)
- (3) 申請者の能力・将来性についての評価を含んだ、申請者が実務経験を積んだ職場の上司等による推薦状(一通)(日本語・英語どちらでも可・様式任意)
(やむをえない事情により提出困難な場合には、理由書を提出)
- (4) 健康に関する質問票(ウェブサイトダウンロード可) (別紙3参照)
(合格者には、国内研修開始までに健康診断を受診し、海外実務研修に支障ない旨の医師からの所見を取り付けることを義務付けます)。
- (5) 語学力を証明するもの
応募締切日から5年以内に受験したTOEFL、TOEIC、IELTS、英検、国連英検、ビジネス英検等の成績証明書又はスコアシート(コピー可。やむをえない事情により提出困難な場合は上記(3)に代えることも可)。
- (6) 誓約書(ウェブサイトダウンロード可) (別紙4参照)
本募集要項に添付されている所定様式に必要事項を記入し、本人が署名・捺印して提出してください。

7. 応募方法

郵送、ファックス、またはインターネットを通じて必要書類を提出してください。誓約書は署名が必要であるため、インターネットで提出する際には、原則署名・捺印の上、電子画像化し、顔写真の電子画像とともに提出してください。

8. 応募締め切り

2008年6月16日(月) 日本時間午後5時必着

9. 選考方法

書類選考では、平和構築関連諸分野での実績と今後の当分野でのキャリアにかける意欲により判断します。書類選考通過者に対しては、英語による面接あるいは電話インタビュー

一等を行う予定です。合否は本人への郵送や電話等の通信手段によって、7月中旬に通知します。

10. 応募書類提出先・問合せ先

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-89 広島大学平和科学研究センター内
広島平和構築人材育成センター事務局

Tel & Fax : 082-542-7098 (問合せ・提出用)

Fax : 082-542-7094 (提出用のみ)

電子メール : hpc@hiroshima-u.ac.jp

hpc.application@peacebuilderscenter.jp (提出用のみ)

URL : <http://www.peacebuilderscenter.jp/>

11. 研修員の身分

平成20年8月25日(月)以降の研修期間中(国内・海外)の身分は、所属先の有無にかかわらず「平和構築人材育成センター研修員(HPC Program Associate)」となります。研修員は、当センターが管理する人材登録の対象となり、各種の就職支援を受けることができます。また将来にわたって我が国の平和構築支援の中核を担う人材として、様々なネットワーク作りに加わっていただきます。

なお海外実務研修については、「国連ボランティア計画」を通じて国際機関へ派遣されるか(国連ボランティア計画を通じての派遣の場合、希望に応じて国連ボランティア計画のその後の派遣要請の対象としてロスター登録されます)、国際機関以外へ派遣されるかを問わず、受入機関との調整により派遣待遇が決まります。

所属先がある研修員の研修期間中の当該所属先における身分処遇については、それぞれの所属先で確認ください。

なお4. で明記した通り、海外実務研修にかかる渡航費・着後手当・保険料・現地生活費(住居費含む)等は、HPC負担となります。

12. 研修員の義務

誠実に研修を履行していただくと共に、国内研修および海外実務研修修了時には、報告書を提出していただき、今後の改善点等について助言して頂きます。その後も、講師として本事業における人材育成に携わったり、後輩研修員の就職支援に協力していただいたりすることがあります。

13. 研修終了後の支援体制等

(1) 内外の関係機関と協力しつつ、就職等の情報提供、卒業生のネットワーク作りなど、研修修了者が平和構築の現場で活躍するためのきめ細やかな支援を実施します。

(2) 本研修修了者又は修了見込みの者については、外務省の実施する「アソシエイト・エキスパート(AE)等派遣制度」の選考試験において、選考の際に考慮されます。ただし、右試験に合格した場合であっても、最終的に本研修を修了しない場合には、右合格が取り消される場合もあります。

1 4. その他の注意事項

- (1) 国内研修期間中の宿泊費以外の生活雑費および研修開始前の移動費は、研修員の自己負担とします。
- (2) 応募時に提出された個人情報は、本事業以外の目的では利用しません。
- (3) 応募書類は、一切返却しません。
- (4) 募集期間中に随時日本各地で説明会を開催します。詳細はウェブサイトをご確認ください。
- (5) 海外実務研修中は HPC 負担で保険に加入していただきますが、日本と異なる条件下生活するという自覚を研修員一人一人が持って行動していただきたく、不可抗力による万一の事態に対して HPC は責任を負いませんので、予めご承知おき願います。なお、治安状況によっては派遣を延期、または中止するということもあり得ます。また、派遣中に治安が悪化した場合は、現地の状況に応じて日本又は安全な第三国に避難していただくこともあり得ます。
- (6) HPC は、国連平和構築支援事務局との共催のワークショップ（7月下旬、於：広島）を企画しています。研修員に選抜された方の参加の可能性について検討中のところ、ご承知おき願います。

平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業
(平成 20 年度外務省委託事業)

広島平和構築人材育成センター

(Hiroshima Peacebuilders Center: HPC)

〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1-1-89

<http://www.peacebuilderscenter.jp/>

TEL&FAX: 082-542-7098

e-mail: hpc@hiroshima-u.ac.jp

広島平和構築人材育成センター（Hiroshima Peacebuilders Center: HPC）」は、広島大学平和科学研究センター内に設置された平成 20 年度外務省委託平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業事務局が形成しているプロジェクト研究センターです。

研修の概要

1. 国内研修の概要

HPC 国内研修では、6 週間にわたり講義及びワークショップを通じて平和構築を実践的に学びます。全体を通じて、研修員と講師の間、及び研修員同士の間の相互交流を重視し、問題解決型学習法を取り入れた参加型の研修を設定します。講義部分については、事前にテキストを配布し、高いレベルでの平和構築活動の理解を目指した研修を行います。ワークショップ部分においては、知識を応用する技能を取得・発展させることを狙った研修を行います。研修は全て英語で行います。

HPC が統一的な方法論で研修全体を監督する体制をとっていますが、国連大学、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）e センター、フォルケ・ベルナドッテ・アカデミー（FBA）（スウェーデンの平和活動研修機関）、ピアソン・ピースキーピング・センター（PPC）（カナダの平和活動研修機関）などの関連機関と共同でワークショップを運営し、共同修了証も発行していく予定です。

日程	内容	講師（予定）	場所
8 月 25 日 (月)	事前オリエンテーション(海外実務研修に関する説明および関連スキル研修等)	国連職員等	東京都内
8 月 26 日 (火)	開会式・外務省表敬 チームビルディングエクササイズ	HPC 事務局	
8 月 27 日 (水)	日本による平和構築の取り組み	政府関係者等	
8 月 28 日 (木)	国際機関による平和構築の取組み	国連関係者等	
8 月 29 日 (金)	日本による国際平和協力への取り組み、 緊急事態対処・緊急医療・安全管理等	安全管理専門家	郊外研修施設
8 月 30 日 (土)			

8月31日 (日)			
9月1日 (月)	平和構築概論	篠田英朗(HPC事務局長)、上杉勇司(HPCプログラムオフィサー)	広島市内
9月2日 (火)	アクター 1) 国連行政・財務・人事制度 2) 平和構築の様々な主体 3) 様々な主体間の連携 4) 統合ミッション	国内外専門家(国連職員・経験者等)	
9月3日 (水)	人道・開発支援 1) 国際人権法・人道法 2) 人道援助の潮流 3) 開発援助の潮流 4) 人間の安全保障	国内外専門家(国連職員等)	
9月4日 (木)	ガバナンス 1) 選挙支援 2) 行政支援 3) 法整備支援 4) 移行期の正義	国内外専門家(国連職員等)	
9月5日 (金)	アジアの紛争分析とアジア諸国の平和構築の取り組み	アジア地域からの講師等	

9月6日 (土)	エクスカージョン(希望者のみ): 広島 の戦後復興と平和構築	篠田英朗(HPC事 務局長)	広島平和記念 公園
9月7日 (日)			
9月8日 (月)	UNHCR eセンター・HPC 共同ワークシ ョップ「Coordination」	UNHCR eセンタ ー講師、国連人道 援助機関経験者 等	ひろしま国際 プラザ(広島 県東広島市)
9月9日 (火)			
9月10日 (水)			
9月11日 (木)			
9月12日 (金)	FBA・ILO・HPC 共同ワークショップ 「SSR/DDR」	フォルケ・ベルナ ドッテ・アカデミ ー講師、国連PKO ミッション経験 者等	ひろしま国際 プラザ(広島 県東広島市)
9月13日 (土)			
9月14日 (日)			
9月15日 (祝)			
9月16日 (火)	PPC・HPC 共同ワークショッ ップ 「Developmental Aid for Peacebuilding」	ピアソン・ピース キーピング・セン ター講師、アフリ	ひろしま国際 プラザ(広島 県東広島市)
9月17日			

(水)		カ紛争後国 NGO 代表、開発援助機関関係者、アフリカ専門家等	
9月18日 (木)			
9月19日 (金)	振り返り・全体討議／コア研修閉講式		
9月20日 (土)	エクスカージョン	HPC 関係者	広島市内または国内視察地
9月21日 (日)			
9月22日 (月)			
9月23日 (祝)			
9月24日 (水)	キャリアアップ・スキル（履歴書作成、面接術）	国連機関人事担当者	広島市内
9月25日 (木)	プレゼンテーション&スピーチ・スキル、文章作成能力（報告書・企画書）	国連機関人事担当者	
9月26日 (金)	プログラム管理とリーダーシップ、交渉術	国連職員経験者	
9月27日 (土)			
9月28日			

(日)			
9月29日 (月)	海外実務研修準備・安全管理	HPC 安全管理担当官	東京都内
9月30日 (火)	海外実務研修準備・安全管理	HPC 安全管理担当官	
10月1日 (水)	海外実務研修準備・情報整理	HPC 関係者・海外実務研修受入れ機関関係者	
10月2日 (木)	海外実務研修準備・就職支援	HPC 関係者	
10月3日 (金)	壮行会		

(国内研修のスケジュールは、講師の方々の都合等の理由により、変更になる可能性があります。)

2. 海外実務研修の概要

海外実務研修は、10月上旬より最大5～6ヶ月間、平和構築分野で活躍する国際機関等の現地事務所等における実務を通じて行います。派遣先機関における職務内容によって実際の研修内容は変わりますが、平成20年3月下旬の研修終了時には、全ての研修員より研修報告書を提出いただく他、一部の方には日本で開催する報告会において発表していただきます。したがって各研修員が具体的な目標を持って海外実務研修に取り組むことが求められます。

海外実務研修にて派遣可能性のある国際機関としては、国際移住機関（IOM）、国連開発計画（UNDP）、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、国連児童基金（UNICEF）、国連世界食糧計画（WFP）などがありますが、他の国際機関やNGO等への派遣を希望することもできます。派遣先については、合格後に研修員、関係各機関と協議の上、決定いたします。

 HPC	Hiroshima Peacebuilders Center (HPC) 2008 APPLICATION FORM	Please attach your photo (taken within last 1 year) PHOTO
---	---	---

INSTRUCTIONS: Please answer each question clearly and completely. **Type or print in ink. Write in English.**
Read carefully and follow all directions.

1. Name

Family name	First name	Middle name Maiden name, if any
--------------------	-------------------	---

2. Date of Birth	Day	Month	Year
-------------------------	------------	--------------	-------------

3. Place of Birth	4. Sex
--------------------------	---------------

5. Nationality(ies) at birth	6. Present nationality (ies)	7. Marital status: Single <input type="checkbox"/> Married <input type="checkbox"/>
-------------------------------------	-------------------------------------	---

8. Present title _____ Organization _____

9. Office address Telephone number: _____ E-mail: _____ Any objections to HPC contacting you at office? YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/>
--

10. Entry into HPC training seminar might require assignment and travel to any area of the world. Do you have any difficulties which might limit your prospective field of work or your ability to engage in air travel? YES <input type="checkbox"/> NO <input type="checkbox"/> If "yes", please describe.

11. Permanent address

Telephone number:

12. Present address (if different from item 11)

Telephone number:

E-mail:

13. Preferred field of work

A. What is your area of expertise?

B. What kind of expertise do you wish to develop in the future, if any?

C. What is the agency(ies)/sector you wish to work for in the future, if any?

D. Preference(s) of agency and field of work for overseas OJT training. (This section is for reference use only)

Name of agency	Your previous experience or connection with the agency, if any

14. Knowledge of languages. What is your mother tongue?

Other languages	Exam Scores (Indicate exam types)	READ		WRITE		SPEAK		UNDERSTAND	
		Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily	Easily	Not easily

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

15. Education

A. University or equivalent

Name, Place and Country	Attended from/to		Degrees and academic distinctions obtained	Main course of study
	Mo/Year	Mo/Year		

B. Schools or other formal training or education from age 14 (e.g. high school, technical school or apprenticeship)

Name, Place and Country	Type	Attended from/to		Certificates or diplomas obtained
		Mo/Year	Mo/Year	

16. List professional societies and activities in civic, public or international affairs

17. List any significant publications you have written (do not attach)

18. Employment record: Starting with your present post, list in reverse order every employment you have had. Use a separate block for each post. Include also service in the armed forces and note any period during which you were not gainfully employed. If you need more space, attach additional pages of the same size.

A. Present post (Last post, if not presently in employment)

From	To	Exact title of your post:	
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Type of business:	
Address of employer		Name of supervisor:	
		Number and kind of employees supervised by you:	Reason for leaving:

Description of your duties

B. Previous posts (in reverse order)

From	To	Exact title of your post:	
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Type of business:	
Address of employer		Name of supervisor:	
		Number and kind of employees supervised	Reason for leaving:

		by you:	
Description of your duties			
From	To	Exact title of your post:	
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Type of business:	
Address of employer		Name of supervisor:	
		Number and kind of employees supervised by you:	Reason for leaving:
Description of your duties			
From	To	Exact title of your post:	
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Type of business:	
Address of employer		Name of supervisor:	

		Number and kind of employees supervised by you:	Reason for leaving:
Description of your duties			
From	To	Exact title of your post:	
Month/Year	Month/Year		
Name of employer		Type of business:	
Address of employer		Name of supervisor:	
		Number and kind of employees supervised by you:	Reason for leaving:
Description of your duties			
19. References: List three persons who are familiar with your character and qualifications			
Full name	Full address (include email address and telephone number)		Business or occupation
20. State any other relevant facts, including information regarding any residence outside the country of your nationality			

21. Have you ever been arrested, indicted, or summoned into court as a defendant in a criminal proceeding, or convicted, fined or imprisoned for the violation of any law (excluding minor traffic violations)? If “yes”, give full particulars of each case in an attached statement.

YES

NO

22. I certify that the statements made by me in answer to the foregoing questions are true, complete and correct to the best of my knowledge and belief.

Date: _____

Name: _____

N.B. You may be requested to supply documentary evidence which supports the statements you have made above. Do not, however, send any documentary evidence until you have been asked to do so and, in any event, do not submit the original texts of references or testimonials unless they have been obtained for the sole use of this application.

<別紙4>

整理番号：

誓約書

広島平和構築人材育成センター
事務局長 殿

私は、広島平和構築人材育成センター（以下、「HPC」という）が行う平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業研修を受講するに当たって、研修を修了したあとは、平和構築支援分野の実務に従事するために最大限の努力を払うことを、誓約いたします。またさらに下記事項を遵守いたします。

記

1. 研修中は所定の研修等に従事し、研修目的の達成に努めると共に、HPC 関係者をはじめとして講師や派遣先機関の指導員等、指導する者の指示等に従うこと。
2. 安全を最優先に活動し、日本及び派遣先国の法令、HPC が定める規則、国内研修及び海外実務研修を実施する諸機関等の安全基準・行動基準等を遵守すること。
3. 研修期間中に故意又は過失によって HPC 又は第三者に損害を与えた場合は、研修員の加入する保険により補償することとし、保険で補償されないものに関しては、自らの責任において対処すること。
4. HPC の承認を受けずに研修を中止又は休止した場合は、その他正当な理由なく上記遵守事項に違反したときは、HPC の指示に従い、既に受けた研修の費用の全部又は一部を返済すること。
5. 広島平和構築人材育成センター研修員（HPC Program Associate）としての資格を利用して、政治、布教、私利に関する一切の活動を行わないこと。
6. 研修期間中に天災・人災・事故・疾病・犯罪等による損害を受けた場合は、研修員の加入する保険により補償することとし、いかなる請求も HPC 関係機関に対して行わないこと。
7. この誓約に違反し、その他不正な行為があったとき、研修の中止を含む措置については HPC の決定に従うこと。

平成 年 月 日
氏名（自署）

（印）